

## 早期膵臓がん診断に資する検査方法の検討・開発

### 1. 研究の対象

当院研究“肝胆膵疾患患者に由来する血清や余剰生体試料の保管”にご同意頂き、血清保存を行った方

当院成人病ドックにて包括同意を頂き、血清保存を行った方が対象となります。

### 2. 研究目的・方法

膵臓がんはがんの中では 4 番目の死亡原因となっています。膵臓がんは他臓器がんと比べて予後が不良で、全国がんセンター協議会の生存率調査によると膵臓がんの 5 年生存率は 11.1%と最も低いことが報告されています。膵臓がんの予後を改善させるためには早期ステージでの発見が鍵を握りますが、現時点では血液検査で測定可能なバイオマーカーとして、早期ステージの膵臓がんに対する信頼性の高いものはないのが現状です。

このたび、大阪国際がんセンターは住友化学株式会社と共同して、膵臓がんの早期発見を目指して、血液中のバイオマーカー探索等の研究を実施し、膵臓がん診断法の開発を進めることになりました。住友化学が開発中の膵臓がんの早期診断法の有用性を大阪国際がんセンターの膵臓がんに係る知識・情報と保存している血液検体を用いて検証します。研究予定期間は実施許可後から西暦 2023 年 3 月 31 日となります。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：患者背景、検査結果、抗がん剤治療の治療歴・治療効果、生存期間 等

試料：当院研究“肝胆膵疾患患者に由来する血清や余剰生体試料の保管”にご同意頂き、当院にて保存している血清

当院成人病ドックにて包括同意を頂き、当院にて保存している血清

### 4. 外部への試料・情報の提供

住友化学・先端技術研究所へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

### 5. 研究組織

〈本研究参加施設および施設責任者一覧〉

大阪国際がんセンター 施設責任者：大川和良

住友化学株式会社 先端材料開発研究所 施設責任者：斎藤幸一・東清史

## 6. 研究の資金源等、研究に係る利益相反に関する状況

本研究は、住友化学株式会社との共同研究契約により、同社より共同研究費（700万円）を受けて実施します。研究責任者および研究分担者には、開示すべき利益相反はなく、本研究の利益相反は、当センターの利益相反委員会にて適切に管理いたします。また、本研究の結果について学会や論文等で発表する場合は、本研究と関係がある企業との全ての利益相反について適切に開示します。

## 7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪国際がんセンター 肝胆膵内科 池澤 賢治

住所：〒541-8567 大阪府中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

研究責任者：

大阪国際がんセンター 肝胆膵内科 大川 和良

住所：〒541-8567 大阪府中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

-----以上